

第66回 日本生物工学会大会

1階C会場 (107 + 108)

9月9日(火) 11:45-12:45

■ 広範囲な生体分子測定を可能にする最新の分離技術・質量分析技術 ～メタボロミクスから標的定量まで～

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

演者： 高原 健太郎

生物学研究で生じる有用化合物は、アルコール、アミノ酸、糖、脂質、二次代謝物など非常に多岐にわたります。さらに、多様な化合物の混合物である細胞を対象とした分析が求められるため、標的対象化合物をいかに特異的に検出できるかが分析の鍵となります。サーモフィッシャーサイエンティフィックが提供する3種の分離技術（ガスクロマトグラフィー：GC、液体クロマトグラフィー：LC、イオンクロマトグラフィー：IC）を質量分析計と適切に組み合わせることで、標的分子を夾雑成分より効果的に分離し、 m/z による特異性の高い検出を可能とします。よって、複雑なサンプルから微量の標的化合物を検出・定量する場合に貢献いたします。メタボロミクス研究に代表されるように、標的対象化合物は必ずしも既知ではなく、未知であることもあります。この場合、化合物の検出に加えて、構造同定に寄与する付加的な情報が望まれます。Thermo Scientific独自の技術であるOrbitrapを搭載した質量分析計を用いることで、精密質量情報と高分解能 MS^n による構造情報を高精度で取得できます。さらにOrbitrap質量分析計の実測の多段階 MS^n データを収載したライブラリー「mzCloud」は、未知化合物の構造解析に有益な情報をもたらします。

本セミナーでは、GC-MS、LC-MS、IC-MSの分離特性を生かしたアプリケーションと、最新ソフトウェアによる解析例をご紹介します。



● 問い合わせ先

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-9

 Tel.0120-753-670  Fax.0120-753-671

E-mail.Analyze.jp@thermofisher.com www.thermoscientific.jp

Thermo
SCIENTIFIC